



NPO法人 大谷石研究会

大谷石の魅力为全国のみなさんへお伝えする大谷石研究会の広報誌

南宇都宮駅前に 大谷石群芸術総合空間誕生

武井 貴志 NPO法人大谷石研究会 理事

(社) 栃木県建築士会宇都宮支部
まちづくり委員会委員長

東武宇都宮線南宇都宮駅は、終点の東武宇都宮駅からひとつ手前、乗降客が一日1300人程度のちいさな駅です。

大谷石造りの駅に降り、駅前ロータリーを出て、宇都宮市文化会館方向に歩きだしてすぐ、右側に大谷石蔵群が目飛び込んできます。昭和20年代後半から30年代前半にかけて建設され、当初米の貯蔵庫として使われていた石蔵ですが、蔵と蔵の間に増築された下屋が石蔵を隠し、長い間埋もれていました。

一部がダンススタジオ・イベントスペース(BEACH)として利用され始めたのが2004年。その後、個性あふれる人たちが集まり五つのギャラリー(GALLERY)と二つのレストラン(Chihiro,ア寛)が生まれました。全て既存の蔵を利用し外部も整備され、駅前一区画に連なる石蔵群が、芸術総合空間として利用されています。



大谷石昔ばなし...3 石屋根物語

民芸運動家柳宗悦の石屋根への思い

大谷石建築といえば、旧帝国ホテルを設計したフランク・ロイドが有名であるが、大谷石建築物について本格的に調査を企画したのは柳宗悦である。柳宗悦は浜田庄司などとともに民芸運動を提唱した者である。大正13年浜田庄司が益子で陶芸を開始すると、益子をはじめ栃木県内を度々

訪れるようになる。そして宇都宮周辺に分布する石屋根の美しさに感銘したのである。その結果、昭和9年には野沢にあった石屋根の長屋門を購入し自分の住まいとしたほどであるが、石屋根の歴史等を知りたいとも思った。文献を探しても見当たらないばかりか、建築史家に聞いても石屋根のことを知らない。そこで自分たちで調査を実施し、雑誌「工藝」で石屋根を紹介しようと決心したのである。



Graphics
Space
Web
DESIGN

CREATIVE

有限会社 クリエイティブ
☎ 321-0934 宇都宮市築瀬4-18-14
☎ 028-635-6810 ☎ 028-635-6830
<http://www.creative.gr.jp/>
e-mail:creative@aioros.ocn.ne.jp



栃木信用金庫 桜通り支店
とちしんホームページ <http://www.shinkin.co.jp/tochigi/>

TEL 028-625-4131
〒320-0043 宇都宮市桜2丁目7番16号